

2007 / 年報

平成19年度

No.15

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

はじめに

開館以来 15 年目の今年度、指定管理者制度の導入 2 年目、さらなる職員的大幅異動により新たな雰囲気でご館経営にあたらせていただきました。まずは館経営の基本に立ち返って準備や研修からスタートしなければならず、開館当初に近い慌ただしさでありました。幸いにも職員の熱意で好発進できました。施設に対する思いと情熱が基本であることを痛感させられました。

開館 15 周年記念企画として第 15 回企画展を多数の重要文化財指定資料のある押出遺跡で行うなど企画展を充実させながら、今年度で 2 年目を迎える「うきたむ学講座」をはじめ諸事業を継続しました。企画展「縄文の至宝 押出遺跡」展は、県内外に大きな反響があり、ときならぬ縄文フィーバーを引き起こしたようです。

企画展に併せて当館収蔵品以外の押出遺跡出土資料を当館に移管させていただきました。これで発掘調査報告書に掲載された全資料が当館で活用できることになり、毎年多数来館される研究者の方々にも便宜を図ることができます。また、多様な角度から展示して県民はもとより多くの国民に奉仕できるようになりました。移管と同時に始まった資料整理も進行中ですが、大量の資料であるため年度を越すことになりました。完成すればさらにきめ細かな情報提供もできるようになります。

企画展では展示内容の学習を兼ねた考古学セミナーを実施したり、5 回におよぶギャラリートークを行ったりして展示内容の解説を強化するなど展示そのものの工夫に加えて工夫を凝らしましたが、その甲斐あって今までになく反響のある企画展になりました。これも県文化財保護室や財団法人山形県埋蔵文化財センターの皆様のご献身的な協力があったからであります。

各種事業でもいろいろな皆様のご協力を賜りましたが、当館利用団体のうきたむ考古の会に加えてうきたむ学講座の実行委員や後援団体の協力もあって、当館の事業全体が多くの方々に支えられながら順調に推移しております。

しかしながら、ここ最近の博物館・資料館の入館者減少の傾向は当館でも本年になって目立ってきました。当館自体の課題というより当館をとりまく環境変化に起因する課題が大きいようです。この点をふまえながらもさらなる知恵と工夫で、多くの方々にご利用いただけるように邁進していきたいと思っております。

入館者の伸び悩みという課題が生じたものの、事業内容等では関係機関や利用団体・地域の団体の皆様のご協力を得て順調に推移した一年であったように受け止められます。また、国内各地、特に東日本の大学をはじめとする多くの研究機関や研究者の方々からもご支援をいただきました。キーワードはまさしく「交流と連携」であることを実感させられました。

結びに、本館の運営に多大なるご協力を賜りました山形県および各市町村教育委員会、財団法人山形県埋蔵文化財センター、山形考古学会、うきたむ考古の会、東北芸術工科大学・山形大学はじめ東日本各地の大学、うきたむ学実行委員会および置賜の歴史関係諸団体、歴史公園管理組合等の多くの皆様に深く感謝を申し上げますと共に、今後共にご支援ご協力をお願い申し上げ、はじめの言葉とします。

平成 20 年 3 月吉日

館 長 佐 藤 鎮 雄

目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	2
3. 展示の概要	5
(1) 常設展示及びテーマ展示	
(2) 第15回企画展	
4. 教育普及活動	7
(1) 公開講演会	
(2) 体験教室	
(3) 遺跡研修	
(4) 第9期「考古学セミナー」	
(5) 発掘調査検討会	
(6) 第Ⅱ期うきたむ学講座	
(7) 学校教育との連携	
(8) 学芸員実習	
(9) 「うきたむ考古の会」の事業	
5. 資料の収集・保管	11
6. 資料の活用	11
(1) 資料貸出	
(2) 写真利用	
(3) 資料館資料の特別利用	
(4) 刊行物一覧	
7. 入館状況	13
(1) 月別入館者一覧表	
(2) 主な入館団体一覧	
(3) 来観者アンケート	
8. 管理及び運営	14
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
9. 受贈図書	15
10. 利用案内	21

1. 施設概要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿革

昭和51年度	第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和56年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和60年度	第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和61年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
平成2年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成3年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成4年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成5年度	考古資料館開館 4月23日

(3) 施設

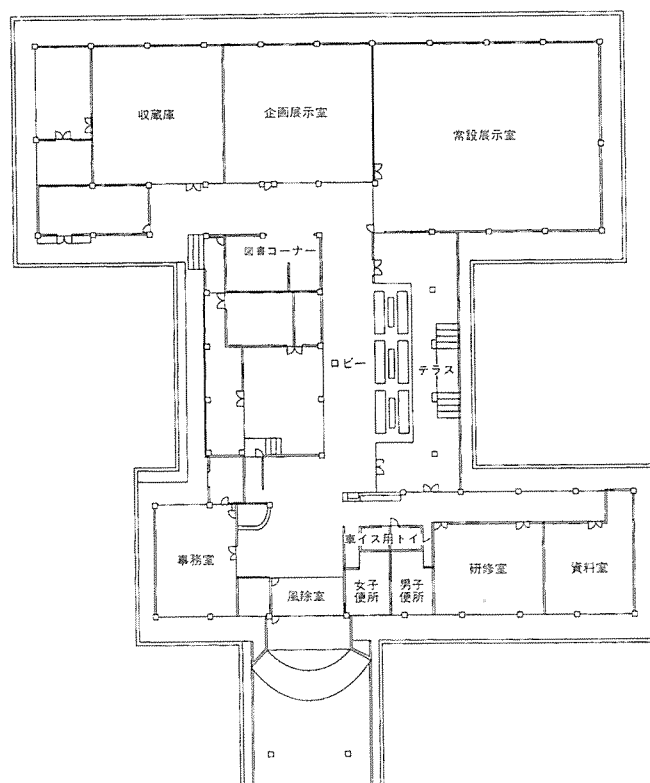
① 構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建

敷地面積： 7,000m²

延床面積：1,358.24m²

常設展示室	279.00m ²
企画展示室	129.37m ²
収蔵庫(2層)	129.37m ²
研修室	125.70m ²
事務室	67.50m ²
作業室・荷解室	51.75m ²
ロビー・ホール	336.85m ²
その他(機械室等)	238.70m ²



[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]

2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度 開館記念行事・記念講演「考古資料館に期待すること」 文化庁 田中 琢氏
第1回特別展「縄文の四季」
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」
第1回収蔵品展「押出遺跡とその周辺」
第1回企画展「古墳と人々の暮らし」
講演会「末期古墳がつくられたころ」 福島大学 工藤雅樹氏
第2回収蔵品展「最近発掘された置賜の遺跡から」
- 平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」
講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」 秋田埋文センター 富樫泰時氏
第3回収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」
第1期やさしい考古学入門講座
「縄文時代の人々と文化」 日本考古学協会会員 佐藤鎮雄氏 他10回
第3回企画展「発掘された中世ーまじないと祈りの世界ー」
講演会「中尊寺金色堂の視線」 東北大学 入間田宣夫氏
第4回収蔵品展「古代の村と暮らし」
- 平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」
講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」 青森県教育委員会 岡田康博氏
第5回収蔵品展「高島の古墳時代」
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」
「縄文草創期・早期」 山形埋文センター 佐々木洋治氏 他10回
うきたむ考古の会設立 東北中世考古学会設立
第4回企画展「やまがた古代の役所」
味噌根窯跡の発掘調査（～12月上旬）
講演会「古代出羽の役所」 酒田市教育委員会 小野 忍氏
第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」
- 平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」
講演会「古代の窯業遺跡」 国立歴史民俗博物館教授 吉岡康暢氏
第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」
「弥生時代の遺跡を掘る」 山形埋文センター 佐藤庄一氏 他10回
第7回収蔵品展「縄文の四季」
第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」
講演会「縄文文化と現代」 国立歴史民俗博物館 佐原 真氏
第8回収蔵品展「土器のうつりかわり」
- 平成9年度 第6回企画展「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」
テーマ展「考古資料からみた古代・中世」（企画展期間を除く）
講演会「古代出羽の都」 酒田中央高校 佐藤禎宏氏

講演会「縄文文化の魅力」 國學院大学 小林達雄氏
第4期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」
「大型住居跡を掘る」 米沢市教育委員会 手塚 孝氏 他5回

平成10年度 第7回企画展「やまがたの弥生文化－水田稲作の始まり－」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学入門講座「中世の考古学」
「奥羽の中世世界」 山形大学 伊藤清郎氏 他5回
講演会「東北の弥生文化－その成立と展開－」 東北大学 須藤 隆氏

平成11年度 第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「やまがたの古墳とその時代」
「古墳時代の集落」 山形県立博物館 阿部明彦氏 他5回
講演会「日本の中の山形の古墳」 明治大学 大塚初重氏
置賜地区遺跡発掘調査報告会

平成12年度 第9回企画展「縄文時代・最後の世界」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「奈良・平安の考古学」
「飛鳥時代の東北」 福島県教育委員会 木本元治氏 他5回
講演会「縄文文化の最後の世界～東北・北陸の縄文晩期の文化」
明治大学 石川日出志氏
2000年山形の発掘〈調査検討会〉

平成13年度 第10回企画展「発掘された山形の城館跡」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「城館跡の考古学」
「城館跡を歩き楽しむ」 中世城郭研究会 横山勝栄氏 他5回
講演会「奥羽における城館跡」 山形大学 伊藤清郎氏
2001年山形の発掘〈調査検討会〉

平成14年度 第4回特別展「やまがたの縄文土器」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「やまがたの縄文土器」
「縄文土器の出現と展開」 山形県教育庁 渋谷孝雄氏 他5回
講演会「やまがたの縄文土器」
國學院大学 小林達雄氏、東京都教育委員会 安孫子昭二氏
2002年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成15年度 第11回企画展「古代長者の世界～古志田東遺跡展」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「平安時代の歴史と考古」

「平泉と出羽」 山形県立米沢女子短期大学 吉田 歆氏 他5回
講演会「古代長者の世界～古志田東遺跡」

山形大学 三上喜孝氏、米沢市教育委員会 手塚 孝氏
2003年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成16年度 第12回企画展「埋められた経こめられた願い やまがたの経塚」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「信仰の歴史と考古」
「中世出羽の宗教と民衆」 山形大学 伊藤清郎氏 他5回
講演会「東日本の経塚と地域性」 国立歴史民俗博物館 村木二郎氏
「やまがたの経塚」 当館館長 川崎利夫
2004年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成17年度 第13回企画展「古墳ができたころ 山形盆地の集落跡を中心に」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「古墳出現期の考古学」
「古墳時代前期とはどんな時代か」 山形県教育庁 尾形興典氏 他5回
講演会「土器からみる古墳出現期の地域間交流」 東北学院大学 辻 秀人氏
2005年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成18年度 第14回企画展「旧石器から日向へー大きく変わった環境と文化ー」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「旧石器・中石器の考古学」
「ナイフ形石器を使う人々」(助山形県埋蔵文化財センター 渋谷孝雄氏 他5回
講演会「日向洞窟の石器が語る環境と文化の大激変ー旧石器から縄文へー」
東北学院大学 佐川正敏氏
2006年置賜の発掘〈調査検討会〉
第Ⅰ期うきたむ学講座 米沢女子短期大学 吉田歆氏他 全3回

平成19年度 第15回企画展「縄文の至宝 押出遺跡」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「縄文時代前期の考古学ー押出遺跡にみる縄文人のくらしー」
「縄文の至宝 押出遺跡」 山形県教育庁文化財保護室 渋谷孝雄氏 他5回
講演会「押出遺跡の世界」 山形県教育庁文化財保護室 佐藤庄一氏
2007年置賜の発掘〈調査検討会〉
第Ⅱ期うきたむ講座 山形大学人文学部 三上喜孝氏他 全3回

これまでの教育普及活動

体験教室 土器作り、珧状耳飾り作り、縄文住居作り、土面・土笛作り
編み物作り、土偶作り、釣り針作り、弓矢・投げ槍体験、石器作り
縄文料理、勾玉作り、火おこし、柿渋染め、ガラス玉作り
イベント 縄文まつり(体験教室と縄文料理)
史跡見学 毎年、春・秋に県内、夏に県外を視察

3. 展示の概要

(1) 常設展示及びテーマ展示

ロビーからはじまる常設展示「置賜のあけぼの」では、今から4～5万年前の飯豊町上屋地遺跡からはじまり、1万5千年ほど前までの旧石器時代を紹介している。当時の自然環境や石器の作り方など、人々の生活の様子をイラストや復元資料を用いて解説している。また、ロビーには今日に至るまでの歴史の流れが一目でわかるように年表が掲げてあり、世界・日本・おきたまと、おおまかに区分され世界の歴史的な動きと地域の歴史とが対比できるように工夫している。

常設展示室は、「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳をつくる人々」の三部構成である。置賜を中心に地域の原始・古代の歴史を紹介しながら、日向洞窟をはじめ縄文時代の幕開けをつげる高畠町の国指定史跡の4つの洞窟遺跡をとりあげている。さらに縄文時代の低湿地遺跡で、縄文クッキーをはじめ、数々の木製品、彩漆土器などが出土した押出遺跡を遺物やジオラマで紹介する。そのほか豪壮な縄文中期から後期・晩期の繊細な土器の変遷が土偶や石器とともに展示されている。弥生時代の展示では、縄文の文様のついた壺を復元展示し、古墳時代の展示では、写真パネルにより置賜地域に広く分布する古墳の様子を解説しているほか、鏡やガラス玉、勾玉など、古墳時代を象徴する資料を展示している。

企画展示室では企画展期間外において、テーマ展「古代・中世の考古資料」として展示を行っている。古墳時代以後の歴史時代の考古遺物が並ぶ。登り窯や経塚など、展示不可能な遺構は模型で表現し、わかりやすく解説している。6世紀から江戸時代までの器や信仰遺物、奈良・平安時代の文字資料・硯が多い。



(2) 第14回企画展

- テーマ 「縄文の至宝 押出遺跡」
- 開催期間 2007年10月2日～11月30日

全国的にも有名な押出遺跡にスポットをあて、縄文時代前期の湿地にくらした押出ムラの様子を、展示資料と写真パネルから探った。

発掘調査報告書が刊行されて、押出遺跡の研究がようやく始まったといえる。その幕開けと言うに等しく、第15回を記念しての企画展である。

展示は5部構成で、プロローグ「縄文のタイムカプセル」においては、常設展示をそのまま利用し、企画展へと続くアプローチとした。「Ⅰ 縄文ロードの華」では、遺跡発見の経緯から、発掘調査の状況を、「Ⅱ 押出ムラの生業」では、在地の土器と他地域の土器、様々な石の道具、と2部構成で土器や石器の製作・使用方法を解説している。「Ⅲ 押出ムラのくらし」では木製品を中心に、つくる・とる調理する、といった項目ごとに展示を行った。「エピローグ 全国へ発信」では、押出遺跡が掲載された本を紹介した。

展示において、保存処理を終えた木製品を数多く展示し、また押出遺跡で最も良く知られている彩漆土器を約12年ぶりに公開、その際にはライティングに十分注意し、光を直接当てないように配慮した。また、大木4式という押出遺跡に多く見られる、装飾の繊細かつ大胆な土器を一堂に展示し、好評を得た。

地震対策として、大型の不安定な土器はテグスを張った。



4. 教育普及活動

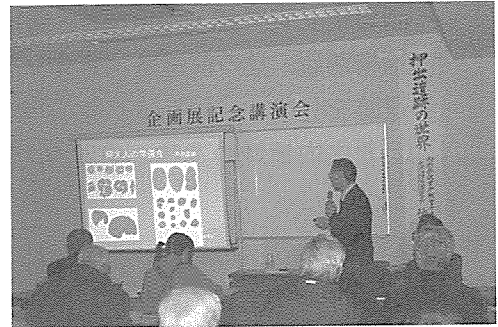
(1) 第15回考古学セミナー記念講演会

11月18日(日) 受講者 57名

基調講演「押出遺跡の世界」

県教育庁文化財保護室長 佐藤庄一氏

縄文時代前期の、湿地にくらした押出の人々の様子を、スライドを用いて解説。多数の質問が出るなど大変好評であった。



(2) 体験教室

① 勾玉・弓矢をつくろう

5月12日(土)・11月3日(祝) 延べ115名参加

資料館の展示を見学のあと、滑石を使って勾玉、竹を使って弓矢を作った。

② ガラス玉をつくろう

6月16日(土)・12月8日(土) 14組参加

ガラスをとかし、芯棒に巻きつける方法で、古墳などから出土するガラス玉を作った。昨年度好評だったため、今年度は2回開催。

③ 縄文土器をつくろう-野焼きのための焼物教室-

形づくり 8月5日(日) 9名参加

野焼き 10月21日(日) 6名参加

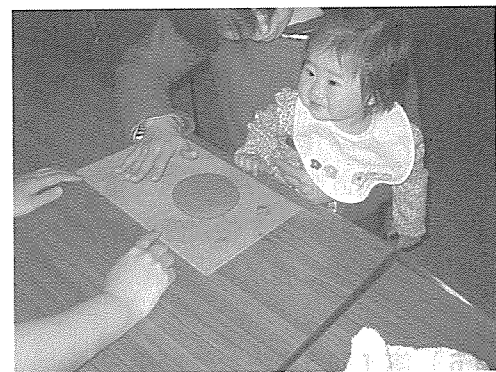
④ 編布(あんぎん)をつくろう

1月19日(土) 7名参加

⑤ 赤ちゃん手形づくり

5月2日より5月6日まで 参加者535名(手形)

縄文時代に、子どもの健やかな成長を願って作られたと考えられる赤ちゃんの手形土製品を、親子で楽しんで再現することを目的に実施し、7年目の開催となった。過去最高だった昨年度をさらに上回る参加があり、益々人気を博した。



(4) 遺跡研修

① 春の遺跡めぐり

5月27日(日) 参加者28名

川西町・飯豊町方面。天養寺中村観音堂・散居集落展望台・中村原土壇・萩生城址・原田城址・川西町埋蔵文化財資料室・天神森古墳・掬水工芸館・弘安二年阿弥陀板碑・牛谷家の門を見学。

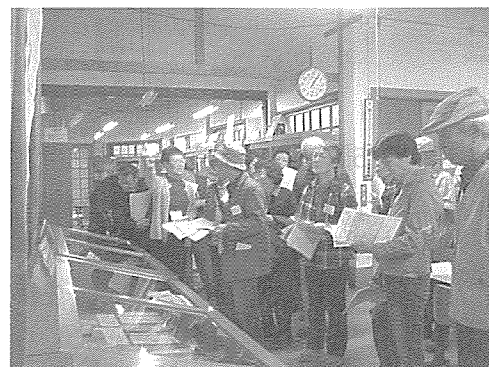
中村観音堂では特別に開帳していただき、また、見る機会の少ない板碑なども見学。大変好評であった。

②秋の遺跡めぐり

10月14日(日) 参加者20名

北庄内、酒田市・遊佐町方面。松山文化伝承館・酒田市立資料館・光丘文庫・新田目城(車中)・城輪柵跡新・堂の前遺跡(車中)・八森遺跡・小山崎遺跡を見学

北庄内地域の遺跡・史跡をたっぷり見学。講師を交えて各所で解説をいただき、より理解が深まり大変好評であった。



(4) 第9期「考古学セミナー」

企画展の内容に合わせて、「縄文時代前期の考古学」をテーマとして開催、学習した。縄文時代前期の低湿地に生きた人々がどのような文化を持って生活していたのか、最新の考古学資料をもとに、県内の最前線で研究している講師により講義を行った。

受講者延べ162名

- 第1回 7月15日 「大谷地の縄文文化」 当館館長 佐藤鎮雄
「縄文の至宝 押出遺跡」 山形県教育庁文化財保護室 洪谷孝雄氏
- 第2回 7月22日 「大谷地の縄文ムラ」 山形県教育庁世界遺産推進室 山口博之氏
- 第3回 7月29日 「押出ムラの土器」 山形県埋蔵文化財センター 小林圭一氏
- 第4回 8月19日 「押出人の使用した石の道具とその形」 山形県教育庁文化財保護室 石井浩幸氏
- 第5回 8月26日 「押出ムラの暮らし」 山形県埋蔵文化財センター 菅原哲文氏

(5) 発掘調査検討会

2007年度置賜の発掘 調査検討会

2月17日(日) 48名参加

基調報告「2007年度山形県の発掘調査概要」山形県教育庁文化財保護室 石井浩幸氏ほか、置賜地方の「天王遺跡」・「堤屋敷遺跡」・「加藤屋敷遺跡」・「街道西下遺跡」・「南台遺跡」の報告・検討を行った。その他置賜地域で発掘調査が行われた各遺跡の写真パネルもあわせて展示した。

(6) 第Ⅱ期うきたむ学講座

昨年度から始まった講座。うきたむ学講座実行委員会と共催。

日頃は市町村、地区単位で歴史探究や啓蒙活動を行っている個人や団体が一堂に集い、置賜地域に根ざした歴史文化を検討し理解を深めた。

- 第1回 1月20日(日) 46名参加
「中世置賜の城館址」 日本考古学協会 手塚 孝氏
「米沢の行屋について」 米沢市上杉博物館 角屋由美子氏
団体紹介「長井文化財保護協会」 今 紘一氏
- 第2回 2月10日(日) 42名参加
「文字で語る置賜古代史」 山形大学人文学部教授 三上喜孝氏

団体紹介「ゲンジ虫とカジカ蛙愛護会」

島津憲一氏

●第3回 3月2日(日) 46名参加

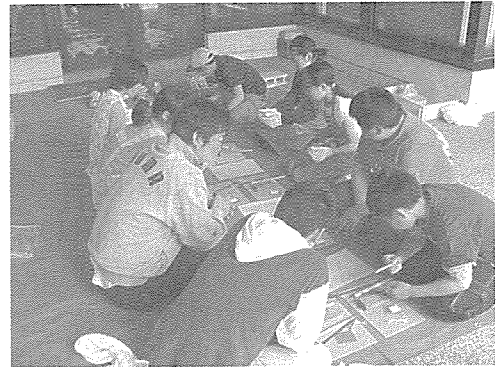
「古墳立地から探る古代人の思想」 当館館長 佐藤鎮雄

団体紹介「川西町文化財保護協会」

藤田宥宣氏

(7) 学校教育との連携

今年度も、学校等の団体で入館を希望する場合に、来館の目的・展示説明や体験学習の有無・利用に際しての希望などを指示していただく「利用打ち合わせ書」の提出を依頼している。また、利用後の「利用評価表」の記入も引き続き依頼し、改善点の指摘などを得た。



多くの学校が、資料館と歴史公園・近隣史跡の見学を組み合わせて利用している。また、体験学習(勾玉づくり・弓矢づくり・編布づくり・火起し・縄文服試着等)を行い、昔の物作りを学習する機会が多い。PTA親子行事などの利用が減少し、社会科学習での利用が大半を占めた。広報と学習内容を改善し、さらに地域教育に根ざした資料館を目指したい。

(8) 学芸員実習

9月1日(土)～9月6日(木)

駿河台大学より計1名を受入れた。実習内容は、資料館の概要・展示についての講義の他、体験学習(勾玉作り)の準備や講師補助、旧石器時代・縄文時代の遺物整理を実技として行った。また、館外実習として(財)山形県埋蔵文化財センターが置賜地方にて行なった発掘調査現場の見学・発掘体験や、山形県立博物館のバックヤード見学を行った。



日誌などの感想からは、実物資料に触れながらの研修は良い経験になったと思われる。

(9) 「うきたむ考古の会」の事業

◎考古の会役員会・役員研修会 4月21日(土)

資料館研修室にて役員会開催。

◎考古の会総会 5月13日(日)

当館研修室にて開催。前年度事業・会計報告と、今年度事業・会計予算案、役員選出等を決議。

◎会誌「うきたむ考古」11号の発行

2005年度第7期考古学セミナー「古墳のはじまりと山形盆地の前期古墳」当館名誉館長川崎利夫氏、「置賜地方の前期古墳」当館館長佐藤鎮雄の講演抄他、会員による報告などを掲載。

◎会員研修～みる・きく・ふれる遺跡の旅12～茨城県水戸・石岡をめぐる旅～

6月30日・7月1日(土・日) 30名参加

小美玉市玉里史料館を見学。館の職員小玉秀成氏より解説をいただいた。石岡市では石岡市歴史ボランティア岩田良雄氏より同行いただき、舟塚山古墳、常陸風土記の丘などを見学解説いただいた。水戸市では、弘道館、彰考館徳川博物館などを見学し、大串貝塚ふれあい公園では飛田邦夫氏より園内を解説いただいた。

◎うきたむ考古の会公開講演会 5月13日(日)

「遺跡の案内人の活動と課題～福島県の文化ボランティアの事例から～」

講師：遠藤千映美氏(福島県文化振興事業団)

◎おしゃべりの会 6月17日(日)・10月21日(日)

◎会員研修 烏帽子山周辺を歩く 4月21日(土) 26名参加

烏帽子山公園・二色根古墳分などを見学

拓本とり 8月19日(日) 3名参加 8月26日(日) 3名参加

宮畑遺跡と信夫山の旅 8月5日(日) 16名参加

福島県宮畑遺跡・福島市歴史資料室・信夫山ほか見学。

若松寺見学会 9月8日(土)

旅行会「神の国出雲」 9月13日(木)～16日(日)

中山城見学会 11月11日(日) 20名参加 案内人：渋谷孝雄氏

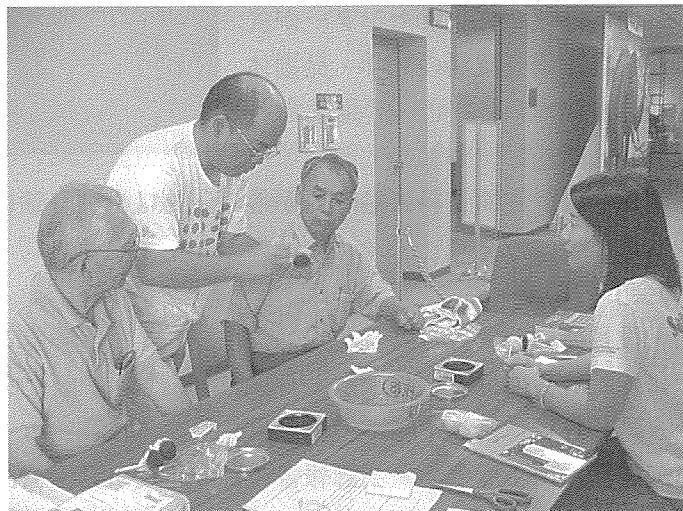
村山雛めぐり 3月16日(日) 30名参加

河北町・寒河江市などの雛人形を見学。

旅行会「奈良・京都の旅」 3月25日(火)～27日(木) 19名参加

◎うきたむ学生フォーラム 3月8日(土) 糠野目生涯学習館にて開催 30名参加

南東北ブロックの大学で考古学・古代史を学ぶ学生の研究発表会・交流会を主催した。山形大学・東北芸術工科大学の参加があり、好評を得た。今後も続けて開催していきたい。



5. 資料の収集・保管

今年度、他の機関より移管された資料は下記の通りである。寄贈・寄託資料は無かった。

- (1) 山形県教育委員会より 押出遺跡出土資料
 土器・石器等 整理箱 155箱 段ボール1箱 その他記録資料(写真など) 260点
- (2) 小国高校より 岩井沢B遺跡出土資料 石器 整理箱 17箱
 湯ノ花遺跡出土資料 石器 整理箱 1箱

6. 資料の活用

- (1) 資料貸出 今年度、該当する貸出無し。
- (2) 写真利用

利用資料	利用目的(印刷物等の名称)	利用者(発行者)	発行日など	部数
押出遺跡出土炭化食物	毎日放送『せやねん』『こだわりハンバーグ食べにいこ！』	毎日放送(関西ローカル)	19年4月28日	
押出遺跡出土炭化食物	日本テレビ たべごろマンマ!「ハンバーSP」	日本テレビタワー26階製作局	19年5月5日	
湯ノ花遺跡石器	『決定版 置賜ふるさと大百科』	郷土出版	19年8月	
押出遺跡深鉢形土器・獣面 把手付土器・彩漆土器ほか	日本の美術第496号「縄文土器 前期」 建石徹著	株式会社 至文堂	19年8月10日	5,000
押出遺跡土器	日本の美術第497号「縄文土器 中期」 土肥孝著	株式会社 至文堂	19年9月20日	5,000
押出遺跡炭化食物	かがく組 3年生 社会科	株式会社 ベネッセ コーポレーション	19年10月1日	100,000
押出遺跡出土炭化食物	テレビ東京系列 日曜ビックバラエ ティー「和風検定」	株式会社 ゼロクリエ イト	19年11月4日	
押出遺跡炭化食物	『日本の歴史』第1巻列島創世記 松木武彦著	株式会社 小学館	19年11月	30,000
押出遺跡炭化食物	『シリーズ縄文時代の考古学』No5 「クッキー状・パン状食品」 中村耕作著	株式会社 同成社	19年11月	
押出遺跡出土炭化食物	NHK教育テレビ『見える歴史』小学 6年生向け社会科「第1回 縄文・弥 生」HP「デジタル教材」	NHKエディケーショ ナル教育部	20年4月～ (19年11月9日 申請)	
押出遺跡彩漆土器・木葉文 浅鉢	年賀状(寄清堂印刷)	株式会社三奥屋・近清 剛	20年1月1日	1,900
押出遺跡彩漆土器	『週刊 古代文明ビジュアルファイル』 50号(デアゴスティーニ・ジャパ ン刊行)	ゼロワークス(株式会 社デアゴスティーニ・ ジャパン)	20年2月1日	40,000
押出遺跡彩漆土器	『総覧 縄文土器』小林達雄 総編集	株式会社アム・プロ モーション		
押出遺跡彩漆土器	ふるさと山形(仮称)	山形県教育委員会	20年2月8日	12,700
押出遺跡彩漆土器出土状況 押出遺跡近景	たかはた文化財	高島町文化財保護会	20年3月31日	300

(3) 資料館資料の特別利用

利用日時	利用資料	利用目的	利用者
4月25日～5月1日	郡の神遺跡出土土器・石器・一字一石経	研究のため	今正幸
11月22日～28日	押出遺跡出土炭化食物 同 遺跡出土土器片	ミュージアムセミナー時、講義中で参加者に提示するため	山形県立博物館

(4) 刊行物一覧

平成19年4月1日から平成20年3月31日までの刊行状況は下記のとおりです。

書名	発行日
館報うきたむ29号	平成19年6月15日
第15回企画展図録兼概説書「押出遺跡」	平成19年10月1日
館報うきたむ30号	平成20年1月15日
2007年度年報	平成20年3月31日

7. 入館状況

(1) 平成19年度 月別入館者一覧表

月別	有料入館者数(人)					無料入館者数(人)						合計
	個人		団体		計	減免者数			視察その他		計	
	一般	児童等	一般	児童等		一般	児童等	高校以下	一般	児童等		
4月	86	7	0	0	93	9	166	29	91	0	295	388
5月	132	8	0	0	140	1,115	819	59	110	5	2,108	2,248
6月	80	1	0	0	81	120	353	24	110	20	627	708
7月	71	0	0	0	71	138	18	27	72	0	255	326
8月	183	15	62	0	260	48	48	80	220	9	405	665
9月	167	21	25	0	213	148	451	59	218	1	877	1,090
10月	302	7	91	0	400	63	29	83	90	0	265	665
11月	260	17	133	0	410	112	43	13	137	2	307	717
12月	11	0	25	0	36	20	30	2	88	22	162	198
1月	10	0	0	0	10	0	0	0	166	17	183	193
2月	10	0	0	0	10	27	0	0	269	0	296	306
3月	39	4	0	0	43	1	11	0	367	0	379	422
計	1,351	80	336	0	1,767	1,801	1,968	376	1,938	76	6,159	7,926

(2) 主な入館団体

米沢市立東部小学校、米沢市立三沢西部小学校、高畠町立屋代小学校、高畠町立二井宿小学校、高畠町立時沢小学校、飯豊町立手ノ子小学校、米沢市立愛宕小学校、米沢市立南原小学校、小国町立伊佐領小学校、小国町立北部小学校、米沢市立適応指導教室、高畠町小学校社会科研修会、中山町立長崎小学校、山形市立南山形小学校、小国町5校合同、米沢市立上郷小学校、高畠町子育て支援センター、(有)ファーマーズクラブ赤とんぼ、米沢市春日町育成部、蔵王っこクラブ、高畠町内学校事務職員研修会、米沢市立六郷小学校、県立米沢商業高校、米沢市立第四中学校、県立長井高校、米沢市立窪田小学校、まほろばの里案内人、神奈川総合高校、ケアステージとこしえ、南陽市立赤湯小学校、高畠町観光協会、高畠町社会教育課、東北芸術工科大学

(3) 入館者アンケート

- ・実際にさわれたりして、見れたのが良かった。わかりやすかった。(埼玉県・10代女性)
- ・土器を直接手に取り、特に須恵器など感動した。思ったより軽く薄いのには驚いた。
(置賜地方・70代女性)
- ・押出遺跡の重要さ、特別さがわかりました。わかりやすく見やすく良かったです。一層実写風の絵、イラストなど充実させて下さい。(東京都・40代男性)

勾玉作りの参加者から

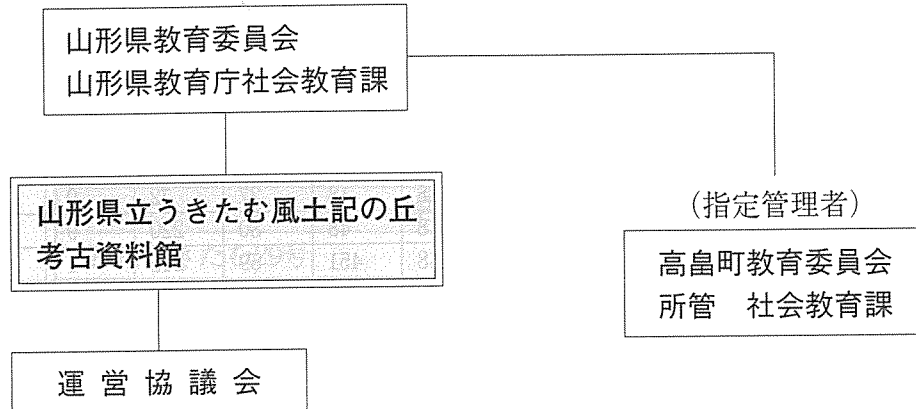
- ・かたくて思うようにいかなかったけど上手くできてよかった。(置賜地方・6年男子)
- ・とても楽しかったです。あなをあけるところがむずかしかったです。(置賜地方・4年女子)

学校関係者から

- ・6年生の歴史学習への意欲付けにつながる貴重な体験・見学をさせていただきました。初めて入った古墳や竪穴住居の中、見せていただいた、たくさんの資料に昔の人の知恵を感じ取っていました。誠にありがとうございました。

8. 管理及び運営

(1) 組織・職員



運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

氏名	備考
村野 隆 男	米沢市教育委員会文化課長
柏倉 俊 夫	財団法人山形県埋蔵文化財センター専務理事
前田 みゆき	南陽市立漆山中学校校長
村田 武	高島地区公民館館長 高島町文化財保護委員
吉野 智 雄	上山市立図書館長 県文化財保護指導員
高梨 善三郎	うきたむ考古の会副会長

委員長 吉野 智 雄

(2) 運営協議会

第1回 開催期日 11月1日(木)

本館研修室

会議内容

- ①平成18年度考古資料館事業報告
- ②平成19年度考古資料館事業状況報告
- ③その他

第2回 開催期日 2月29日(金)

本館研修室

会議内容

- ①平成19年度考古資料館事業報告
- ②平成20年度考古資料館事業計画
- ③その他

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員名簿

職名	氏名	備考
館長	佐藤 鎮 雄	非常勤
館長代理	井田 秀 和	高島町職員
学芸員	森谷 幸	嘱託
職員	小関 利 恵	嘱託
職員	福崎 稔	嘱託
職員	粕谷 孝	嘱託
臨時職員	井上 郁 恵	6～11月

9. 受 贈 図 書

年 報

名 称	発 行 者
浦幌町立博物館年報 第7号	浦幌町立博物館
館報 第4号	苫小牧市博物館
青森県立郷土館調査研究年報 第31号	青森県立郷土館
青森県立郷土館報 第34号	青森県立郷土館
特別史跡 三内丸山遺跡年報10	青森県教育委員会
平成18年度 岩手県立博物館年報	岩手県立博物館
平泉文化研究年報 第7号	岩手県教育委員会
北上市埋蔵文化財年報(2004年度)	北上市埋蔵文化財センター
秋田県立博物館年報 平成19年	秋田県立博物館
秋田県埋蔵文化財センター年報25	秋田県埋蔵文化財センター
秋田城跡(秋田城跡調査事務所年報2006)	秋田市教育委員会
東北歴史博物館 平成18年度年報	東北歴史博物館
仙台市博物館年報 第34号	仙台市博物館
地底の森ミュージアム年報 第11号	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
縄文の森広場年報1	仙台市教育委員会・仙台市縄文の森広場
年報 平成18年度	山形県埋蔵文化財センター
山形市埋蔵文化財調査年報 平成17年度	山形市教育委員会
米沢市上杉博物館年報 VOL.19	米沢市上杉博物館
齋藤茂吉記念館年報 通巻第22号	財)齋藤茂吉記念館
浜田広介記念館館報 第7、8号	浜田広介記念館
福島県文化財センター白河館年報2006	福島県文化財センター白河館
東京都埋蔵文化財センター年報27	東京都埋蔵文化財センター
埋蔵文化財調査センター年報17~19	財)千葉市教育振興財団 埋蔵文化財調査センター
市立市川考古博物館 第34号	市立市川考古博物館
松戸市立博物館年報 第14号	松戸市立博物館
財)横浜市ふるさと歴史財団年報 平成18年度版	財)横浜市ふるさと歴史財団
館報 第2号	埼玉県立さきたま史跡の博物館
栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第15号	栃木県立なす風土記の丘資料館
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報 第21号	栃木県教育委員会・栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター年報 第17号	財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
土浦市立博物館年報 第19号	土浦市立博物館
小美玉市史料館報 第1号	小美玉市玉里史料館
財)群馬県埋蔵文化財調査事業団年報26	財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
新潟県立歴史博物館年報 第7号	新潟県立歴史博物館
十日町教育委員会 文化財課年報11	十日町教育委員会 文化財課
長野県立歴史館年報 No.9	長野県立歴史館
富山県[立山博物館]年報 第16号	富山県[立山博物館]
館報 平成18年度	福井県立若狭歴史民俗資料館
岐阜県博物館報 第30号	岐阜県博物館
名古屋市見晴台考古資料館 年報24	名古屋市見晴台考古資料館
年報 平成18年度	滋賀県立安土城考古博物館
大阪府立近つ飛鳥博物館 館報11	大阪府立近つ飛鳥博物館
紀伊風土記の丘年報 第33、34号	和歌山県立紀伊風土記の丘
財)京都市埋蔵文化財研究所 平成15、16年度	財)京都市埋蔵文化財研究所
愛媛県歴史文化博物館年報 平成18年度	愛媛県歴史文化博物館

高知県立歴史民俗資料館年報 No16	高知県立歴史民俗資料館
下関市立考古博物館年報12	下関市立考古博物館
九州歴史資料館年報 平成18年度	九州歴史資料館
宮崎県総合博物館年報 平成18年度	宮崎県総合博物館
宮崎県立西都原考古博物館年報 2006年度	宮崎県立西都原考古博物館
大分県立歴史博物館年報 2006	大分県立歴史博物館
佐賀県文化財年報 12	佐賀県教育庁文化課
明治大学博物館年報 2005、2006年度	明治大学博物館事務局
同志社大学歴史資料館 館報 第10号	同志社大学歴史資料館
駿河台大学資格課程年報 第7号	駿河台大学 資格課程

図 録

名 称	発 行 者
アイヌからのメッセージ2007	財)アイヌ文化振興・研究推進機構
青森の縄文	青森県教育庁文化財保護課
まちづくりと考古学	盛岡市遺跡の学び館
黄泉への入口	盛岡市遺跡の学び館
北上のチョウ	北上市立博物館
小又川の一万年	秋田県埋蔵文化財センター
町絵図・村絵図の世界	東北歴史博物館
奥州一宮鹽竈神社	東北歴史博物館
スピリチュアルな考古学	仙台市教育委員会・地底の森ミュージアム
若松寺の歴史と遺宝	山形県立博物館
日本の屏風絵	米沢市上杉博物館
直江兼続	米沢市上杉博物館
弥生はいつから!?	国立歴史民俗博物館
国立民俗歴史博物館要覧	国立歴史民俗博物館
長岡京遷都	国立歴史民俗博物館
西のみやこ 東のみやこ	国立歴史民俗博物館
吉田新田ができるまで	横浜市歴史博物館
横浜の礎 (いしずえ)・吉田新田いまむかし	横浜市歴史博物館
横浜の神代神楽	横浜市歴史博物館
不思議なかたちの道具たち	横浜市歴史博物館
吉見の百穴と東日本の横穴墓	埼玉県立さきたま史跡の博物館
下野国分寺展	栃木県教育委員会・栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
十日町市の縄文土器	十日町市博物館友の会・十日町市博物館
武田・上杉・信濃武士	長野県立歴史館
縄文から弥生へ	滋賀県立安土城考古博物館
城と城下町	滋賀県立安土城考古博物館
戦国・安土桃山の造像Ⅱ	滋賀県立安土城考古博物館
信長と安土城	滋賀県安土城考古博物館
河内古代寺院巡礼	大阪府立近つ飛鳥博物館
横穴式石室誕生	大阪府立近つ飛鳥博物館
王墓の考古学	京都府立丹後郷土資料館
ヤマト王権はいかにして始まったか	財)桜井市文化財協会
発掘された木の記憶	財)元興寺文化財研究所
紀州郷土玩具事典	和歌山県立紀伊風土記の丘
紀淡海峡の民	和歌山県立紀伊風土記の丘
木の文化	下関市立考古博物館
異界・妖怪	愛媛県歴史文化博物館

海と島に生きる	愛媛県歴史文化博物館
日韓交流展 王者の装い	宮崎県立西都原考古博物館
巨大古墳の時代	宮崎県立西都原考古博物館
東アジアの中のアイヌ文化	早稲田大学會津八一記念博物館
ウィリアム・モリス 全完本	九州産業大学美術館
発掘された日本列島2007	朝日新聞社
土の中からでてきたよ	(株)平凡社

紀 要

名 称	発 行 者
浦幌町立博物館紀要 第7号	浦幌町立博物館
岩手を旅した絵師の足跡 岩手県立博物館調査研究報告書 第22冊	岩手県立博物館
岩手県立博物館研究報告 第24号	岩手県立博物館
一関市博物館研究報告 第10号	一関市博物館
北上市立博物館研究報告 第16号	北上市立博物館
秋田県立博物館研究報告 第32号	秋田県立博物館
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第21号	秋田県埋蔵文化財センター
東北歴史博物館研究紀要 8	東北歴史博物館
仙台市富沢遺跡保存館研究報告10	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
市民文化財研究員活動報告書11	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
仙台市縄文の森広場研究報告 1	仙台市教育委員会・仙台市縄文の森広場
研究紀要2006	福島県文化財センター白河館 (まほろん)
東京国立博物館紀要 第42号	東京国立博物館
MUSEUM No604~609	東京国立博物館
研究論集X X III	東京都埋蔵文化財センター
横浜市歴史博物館紀要 第10、11号	横浜市歴史博物館
横浜市歴史博物館調査研究報告 第3号	横浜市歴史博物館
研究連絡誌 第68号	千葉県教育振興財団
貝塚博物館紀要 第34号	千葉市立加曾利貝塚博物館
松戸市立博物館紀要 第14号	松戸市立博物館
埼玉県立史跡の博物館紀要 創刊号	埼玉県立さきたま史跡の博物館・埼玉県立嵐山史跡の博物館
研究紀要25	群馬県埋蔵文化財調査事業団
土浦市立博物館紀要 第16、17号	土浦市立博物館
研究紀要 第15号	財)とちぎ生涯学習文化財団 埋蔵文化財センター
長野県立歴史館 研究紀要 第13号	長野県立歴史館
富山県 [立山博物館] 研究紀要 第14号	富山県立立山博物館
岐阜県博物館調査研究報告 第28号	岐阜県博物館
名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第9号	名古屋市見晴台考古資料館
紀要 第15号	滋賀県安土城考古博物館
元興寺文化財研究所 研究報告2006	財)元興寺文化財研究所
研究紀要 第10号	財)京都市埋蔵文化財研究所
研究紀要 第11号	下関市立考古博物館
研究紀要 第15号	高知県立歴史民俗資料館
愛媛県歴史文化博物館研究紀要 第12号	愛媛県歴史文化博物館
大分県立歴史博物館 研究紀要 8	大分県立歴史博物館
宮崎県立西都原考古博物館 第3号	宮崎県立西都原考古博物館
宮崎県総合博物館研究紀要 第28輯	宮崎県総合博物館
研究紀要 第7集	熊本県立装飾古墳館
書陵部紀要 第58号	宮内庁書陵部

東北芸術工科大学 紀要 No14	東北芸術工科大学
文化財保存修復研究センター研究成果報告書 平成18年度	東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター
明治大学博物館研究報告 第12号	明治大学博物館事務局
早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要 第8号	稲田大学會津八一記念博物館
大手前大学史学研究所紀要 第6号	大手前大学史学研究所
國學院大學博物館學紀要 第31輯	國學院大學博物館学研究室
近世丹波焼の研究 大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター研究報告 第3号	大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター
弥生土器集成と編年 大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター研究報告 第5号	大手前大学史学研究所

報告書

名 称	発 行 者
青森県遺跡詳細分布調査報告書19 他5 青森県埋蔵文化財調査報告書 第439～444集	青森県教育委員会
月見野(1)遺跡発掘調査報告書 他4 青森市埋蔵文化財調査報告書 第90～94集	青森市教育委員会
東VI遺跡 他3 一戸町文化財調査報告書 57～60集	一戸町教育委員会
柳之御所遺跡 岩手県文化財調査報告書 第123集	岩手県教育委員会
西上町IV遺跡発掘調査報告書 他2 花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書 第1～3集	花巻市教育委員会
花巻市文化財調査報告書 他1 花巻市文化財調査報告書 第1、32集	花巻市教育委員会
平成17年度花巻市内遺跡発掘調査報告書 花巻市埋蔵文化財調査報告書 第35集	花巻市教育委員会
中尊寺跡第65次発掘調査報告書 他14 岩手県平泉町文化財調査報告書 第84～96、100、101集	平泉町教育委員会
横町遺跡 他8 北上市埋蔵文化財調査報告 第60、66、73～78、80集	北上市教育委員会
中沢貝塚・瀬沢貝塚発掘調査報告書 他3 陸前高田市文化財調査報告書 第23、25～27集	岩手県陸前高田市教育委員会
虚空像大台滝遺跡 他9 秋田県文化財調査報告書 第416～425集	秋田県教育委員会
平成18年度 秋田市遺跡確認調査報告書	秋田市教育委員会
市川橋遺跡の調査 他4 宮城県文化財調査報告書 第209～213集	宮城県教育委員会
山田上ノ台遺跡 仙台市文化財調査報告書 第308集	仙台市教育委員会
権現山遺跡 宮城県大崎市文化財調査報告書 第2集	大崎市教育委員会
一本柳遺跡 牛飼遺跡 他2 美里町文化財調査報告書 第1～3集	美里町教育委員会
高瀬山遺跡(HO地区)発掘調査報告書 他9 山形県埋蔵文化財センター調査報告書 第145、157～165集	財)山形県埋蔵文化財センター
梅野木前1遺跡 山形県山形市埋蔵文化財調査報告書 第28集	山形市教育委員会
花沢A遺跡 他1 米沢市埋蔵文化財調査報告書 第91、92集	米沢市教育委員会
南陽市須刈田 大野平遺跡 山形県南陽市埋蔵文化財調査報告書 第2集	南陽市教育委員会
市内遺跡分布調査報告書(10) 山形県鶴岡市埋蔵文化財調査報告書 第27集	山形県鶴岡市教育委員会
寒河江市内遺跡発掘調査報告書(14) 山形県寒河江市埋蔵文化財調査報告書 第29集	寒河江市教育委員会
市内遺跡発掘調査報告書(15) 山形県長井市埋蔵文化財調査報告書 第27集	長井市教育委員会

高橋城跡発掘調査報告書 他1 山形県山辺市埋蔵文化財調査報告書 第9、11集	山辺町教育委員会
小山崎遺跡 遊佐町埋蔵文化財調査報告書 第6集	遊佐町教育委員会・小山崎遺跡発掘調査団
左沢橋山城跡調査報告書(9) 大江町埋蔵文化財調査報告書 第10集	大江町教育委員会
山形県飯豊町 萩生石箱遺跡	飯豊町教育委員会
荒井猫田遺跡(Ⅱ区)第16次 他7	福島県郡山市教育委員会
根古屋遺跡 上野遺跡 他6 いわき市埋蔵文化財調査報告 第118~122、124冊	いわき市教育委員会
大塚遺跡・野馬土手 南相馬市埋蔵文化財調査報告書 第5集	福島県南相馬市教育委員会
若松城郭内武家屋敷跡 三ノ丸濠跡 他2 会津若松市文化財調査報告書 第110~112号	会津若松市教育委員会
沖船場遺跡試掘調査報告書 他2 桑折町埋蔵文化財調査報告書18~20	桑折町教育委員会
油田遺跡 会津美里町文化財調査報告書 第2集	福島県大沼郡会津美里町教育委員会
草花遺跡・草花古墳群 他15 東京都埋蔵文化財センター調査報告 第200、202、204~217集	東京都埋蔵文化財センター
西中野遺跡Ⅱ	八王子市教育委員会
千葉市高台遺跡・猪鼻城跡 他3	千葉市教育委員会
長倉宮ノ前遺跡 他7 財)山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第92~99集	財)山武郡市文化財センター
千葉市録取場台遺跡 他4	財)千葉市教育振興財団 埋蔵文化財センター
武蔵埼玉 稲荷山古墳	埼玉県教育委員会・埼玉県立さきたま史跡の博物館
長者ヶ平遺跡 他6 栃木県埋蔵文化財調査報告 第300~306集	栃木県教育委員会
今井見切塚遺跡 他12 財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第382、411~417、420、422~424、426集	財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
中林遺跡 他5 吉井町埋蔵文化財発掘調査報告書 第77、79、82集	群馬県多野郡吉井町教育委員会
吉田古墳Ⅰ 水戸市埋蔵文化財調査報告 第6集	水戸市教育委員会
内後遺跡 他4 十日町埋蔵文化財発掘調査報告書 第32~36集	新潟県十日町市教育委員会
百済寺遺跡 他15	滋賀県教育委員会
柳遺跡発掘調査報告書Ⅰ 草津市文化財調査報告書64	滋賀県草津市教育委員会
雀ヶ野第3遺跡(第3次調査) 高城町文化財調査報告書 第16、18、19集	高城町教育委員会
西河原宮の内遺跡・比留田法田遺跡	野州市教育委員会
定納古墳群 近江町文化財調査報告書 第28集	近江町教育委員会
愛荘町内遺跡発掘調査報告書1	愛荘町教育委員会・愛荘町立歴史文化博物館
中原遺跡Ⅰ 佐賀県文化財調査報告書 第168集	佐賀県教育委員会
佐賀市 埋蔵文化財確認調査報告書 他6 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第11~17集	佐賀市教育委員会
西都原古墳群	宮崎県教育委員会・宮崎県西都原考古博物館
西都原173号墳 西都原4号地下式横穴墓 西都原111号墳 特別史跡 西都原古墳群発掘調査報告書 第6集	宮崎県教育委員会
梅北佐土原遺跡 他3 都城市文化財調査報告書 第76、79~81集	宮崎県都城市教育委員会
東日本縄文・弥生時代集落の発展と地域性	東北大学大学院文学研究科・須藤隆
高安窯跡群 東北芸術工科大学考古学研究報告 第6冊 山形市内仏像詳細調査報告書	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
市野関稲荷神社古墳1 上条古墳群2 福島大学考古学研究報告 第2集	福島大学行政政策学類考古学研究室
馬立遺跡発掘調査報告書 大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター研究報告 第4号	大手前大学史学研究所

同志社大学構内遺跡発掘調査報告書 同志社大学歴史資料館調査研究報告 第7集	同志社大学歴史資料館
鹿児島大学構内遺跡 鹿児島大学埋蔵文化財調査室調査報告書 第2、3集	鹿児島大学埋蔵文化財調査室
打越小ガス遺跡Ⅲ	財)東京都新都市建設公社
忠生遺跡A 地区(I)	忠生遺跡調査会
万福寺遺跡	有明文化財研究所・万福寺遺跡群発掘調査団

資料目録

名 称	発 行 者
横浜市歴史博物館資料目録 第15集	横浜市歴史博物館
今治市相の谷1号墳出土遺物 愛媛県歴史文化博物館資料目録 第16集	愛媛県歴史文化博物館

学 術

名 称	発 行 者
米沢史学 第23号	米沢史学会
さあべい 第23号	さあべい同人会
季刊 東北学 第十一号～第十四号	東北芸術工科大学 東北文化研究センター
決定版 置賜ふるさと大百科	樺郷土出版社

単行本

名 称	発 行 者
おもしろ雪学	山形県生涯学習文化財団
史料の新しい可能性をさぐる 歴史研究の最前線 Vol. 8	国立歴史民俗博物館

その他

名 称	発 行 者
岩手博物館ネット地域子ども教室推進事業実施報告 平成18年度	岩手博物館ネット地域子ども教室推進事業実行委員会
花巻市史 資料篇 御次留書帳 第八、十二巻	花巻市教育委員会
押出遺跡の魅力と縄文文化 山形考古学会 第69回研究大会 講演会資料	山形考古学会・原田昌幸
米沢市史 原始・古代・中世編	米沢市史編さん委員会
歴史と考古 第四号	いいで歴史考古の会
緑樹 高島町芸術文化協会40周年記念誌	高島町芸術文化協会
おらほの自慢!	屋代地区公民館運営委員会
史跡桑折西山城跡整備計画書	福島県桑折町教育委員会
博物館の経営・運営指標(ベンチマーク)報告書 他2	財)日本博物館協会
誰にでもやさしい博物館づくり事業 外国人対応 他3 博物館の望ましい姿シリーズ9～12	財)日本博物館協会
平成18年度 博物館に関する基礎資料	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
れきはくにいこうよ 2003～2006	国立歴史民俗博物館
平成18年度 地域子ども教室推進事業報告書	全国博物館における地域子ども教室推進事業運営協議会
新しい時代の博物館制度の在り方について	これからの博物館の在り方に関する検討協力者会議
史跡埼玉古墳群保存整備基本計画	埼玉県教育委員会・埼玉県立さきたま史跡の博物館
那須地域からみる東山道の諸相 平成18年度企画展記念シンポジウム報告書	栃木県立なす風土記の丘資料館
火焰土器前夜 津南学叢書 第5輯	信濃川火焰街道連携協議会・津南町教育委員会
「楼観」再考 - 青谷上寺地のながい柱材をめぐる - 青谷上寺地遺跡特別講演会	鳥取県埋蔵文化財センター
人と文化遺産保存継承ミーティング	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
人類誌集報2005	首都大学東京考古学報告11
記憶と歴史	早稲田大学會津八一記念博物館

10. 利用案内

- ◆ 交通案内 J R高島駅よりタクシーで15分
 J R高島駅より自転車で40分
 *高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります

- ◆ 開館時間 AM 9 : 00 ~ PM 4 : 30

- ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日（こどもの日と文化の日は無料で開館します）
 年末年始（12月28日～1月4日）
 大型連休中は、臨時開館の場合があります
 燻蒸作業のため臨時休館の場合があります

- ◆ 入館料金 一般200円（150円）、学生100円（70円）、小中高生無料
 （ ）は20名様以上の団体料金

- ◆ 入館料の減免 次の基準により減免（無料入館）します
 1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する
 2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、次の各号の一つに該当する者とする
 - (1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - (2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者

*上記の2つの入館料の減免を受けようとする方は、入館料減免申請書を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。
 - (3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、その付添い人

- ◆ 収蔵図書の利用
 資料館に収蔵されている図書（県内等の報告書、各地特別展図録、体験学習資料他）の閲覧等利用することが出来ます。図版や写真の多い資料もございますので、是非ご利用ください。利用時間、休館は考古資料館と同様です。図書利用のみのご利用には入館料はかかりません。
 詳しくは事務室までお問い合わせください。

考古資料館利用の手引き

考古資料館では、小学生から社会人の方までを対象とした様々な学習活動のお手伝いをしております。ご希望の際は、下記項目及び後記打合せ書をご参考に、当館まで事前にご相談ください。（ただし、諸般の事情によりご希望に添えない場合もございます）

- ◆ **展示説明** 当館職員が展示を説明します。また、実物の資料・復元品に触れたり、収蔵しているパネルを使ってのご説明もいたします。
- ◆ **歴史公園を歩く** 当館を含む「まほろば古の里歴史公園」内には、復元された古墳や竪穴式住居、古代米の棚田などが整備されており、こちらをご案内します。
- ◆ **遺跡案内** 当館周辺には、日向洞窟（国史跡）や清水前古墳、金原古墳など多くの遺跡があります。こちらを現地でご案内します。
- ◆ **体験学習** 古代の技術を体験し、当時の人々の生活を学ぶこともできます（メニュー参照）。その他に体験したいことがございましたら、ご相談に応じます。

メニュー	内 容	所要時間	人 数	材料費
勾玉づくり	滑石という柔らかい石で勾玉を作ります。	2時間	40名	200円
火おこし	ひもぎり式という摩擦を利用した古代以来の方法で、火を起こします。	30分	30名	無料
弓矢づくり	竹を利用して、弓矢を作ります。	2時間	10名	200円
土器・土偶・土笛づくり	市販の粘土を野焼き用に調整し、形を作り、縄文の模様などをつけて、野焼きします。	延べ2日 (成形日・野焼き日)	20名	500円
編布（あんぎん）づくり	古代以来の編み具を使って、10cm四方の程度の編み布（コースター）を作ります。	2時間	10名	200円

（目安として）

*当館が日時を指定して行う体験事業（勾玉・弓矢をつくろう、編布をつくろう）の場合は、上記の材料費（参加費）とは異なる場合があります

県立考古資料館利用打ち合わせ書

この度は、当館をご利用いただきましてありがとうございます。当館の利用につきまして、下記の打ち合わせ書を当館までいただきますよう、よろしくおねがいたします。

利 用 団 体			
学 年	年	引率者・代表者	
人 数	大人 名 小人 名		
日時・所要時間	月	日	: ~ :
実 施 内 容	遠足・社会科見学・総合的な学習・クラブ活動・親子行事・PTA行事・その他 ()		
来館のねらい			
説 明	館内・歴史公園・近隣史跡 (日向洞窟・金原古墳ほか)		
職員の説明の際に 強調を希望する点	無・有 (旧石器・縄文・弥生・古墳・古代中世・ 学校近辺の遺跡・当館周辺の遺跡・洞窟遺跡・押出遺跡)		
使いたい資料	無・有 (実物・パネル等・復元縄文衣服) その他 { }		
研 修 室 利 用	希望しない・希望する (学習のため・雨天時の昼食のため)		
利用に当たって 希望すること (体験学習等)	体験：勾玉作り・火おこし等		
交 通 手 段	貸切バス・路線バス・自家用車・レンタサイクル・徒歩・ その他 ()		
当日に利用する 他の施設・史跡等			

*総合学習でご利用いただく場合は、これまでの経過・ご利用になった他の施設・機関等をお教え下さい。日程表・開催概要等がございなしたら、こちらを送付下さい。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 〒992-0302 東置賜郡高畠町大字安久津2117
TEL 0238 - 52 - 2585 FAX 0238 - 52 - 4665

2007／年報

平成20年（2008年）3月31日 印刷・発行

編集発行 〒992-0302
山形県東置賜郡高畠町大字安久津2117
山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
TEL 0238-52-2585
FAX 0238-52-4665
アドレス：122@town.takahata.yamagata.jp

印刷 (株)芳文社よねざわ印刷

